



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



UNITWIN Cooperation Programme on
Media and Information Literacy and Intercultural Dialogue



United Nations Alliance of Civilizations



GAPMIL
GLOBAL ALLIANCE FOR PARTNERSHIPS
ON MEDIA AND INFORMATION LITERACY

法政大学ユネスコ・メディア情報リテラシーと異文化間対話プログラム企画 SDGs とメディア情報リテラシー・フォーラム

日程 2020年9月5～6日 (Zoomによるオンライン開催)

主催 法政大学図書館司書課程

共催 基礎教育保障学会

シンポジウム共催 日本NIE学会、アジア太平洋メディア情報リテラシー教育センター

シンポジウム協力 インターネットメディア協会(JIMA)、FCTメディアリテラシー研究所

学生企画協力 報道自由デーフォーラム実行委員会

今年のユネスコ・グローバル・メディア情報リテラシー(MIL)・ウィークは2020年10月24～31日にオンラインで開催されます。今年のテーマは「偽情報のインフォデミックに対抗するためのすべての人のためのすべての人によるメディア情報リテラシー」です。日本では、9月5～6日に法政大学図書館司書課程と基礎教育保障学会の共催により、プレフォーラムをオンラインで開催いたします。

なお、法政大学はユネスコ・メディア情報リテラシーと異文化間対話(MILID)大学ネットワークのアソシエイトメンバーです。

参加申込方法 次のURLまたは右のQRコードを使って参加を申し込んでください。
参加用ZoomのURLアドレスを前日までにお送りいたします。

<https://forms.gle/a2J2F2wIUeEeXXKbw5>



	13:00-14:00	14:30-17:00
9月5日(土)	オープニングセッション	基礎教育保障研究発表・実践報告
	13:00-15:10	16:00-17:30
9月6日(日)	シンポジウム	学生企画

1日目 9月5日(土)

●13:00-14:00 オープニングセッション

【Zoomによるウェビナー形式で開催】

法政大学主催者挨拶・ユネスコ関係者挨拶・各団体挨拶

- ・法政大学図書館司書課程
- ・基礎教育保障学会

- ・日本NIE学会
- ・インターネットメディア協会(JIMA)
- ・アジア太平洋メディア情報リテラシー教育センター(AMILEC)
- ・FCTメディア・リテラシー研究所
- ・韓国コミュニティ・メディア・ファンデーション(ビデオ)

●14:30-17:00 分科会(基礎教育保障をテーマとした研究・実践報告会)

- ・Zoomによるミーティング形式で開催
- ・報告者および内容は追って紹介します。

2日目 9月6日(日)

●13:00-15:10 シンポジウム

「コロナ禍時代に基礎教育保障からメディア情報リテラシーを考える」

【Zoomによるウェビナー形式で開催】

13:00- 主催挨拶 岩槻知也(基礎教育保障学会、京都女子大学)

13:05-13:25 基調報告

「すべての人のためのすべての人によるメディア情報リテラシー」(坂本旬)

13:25-14:25 報告

進行 坂本

- ・シンポジスト(各15分)
- 長岡智寿子(基礎教育保障学会)
- 二田貴広(日本NIE学会)
- 下村健一(JIMA)
- 松本恭幸(武蔵大学)

14:25-14:45 コメント

- ・コメンテーター(各10分)
- 西村寿子(FCTメディアリテラシー研究所)
- 工藤慶一(北海道に夜間中学をつくる会)

14:45-15:05 ディスカッション

15:05-15:10 まとめ

●16:00-17:30 学生企画「コロナ禍とMILID(メディア情報リテラシーと異文化間対話)」

【Zoomによるウェビナー形式で開催】

- ・主催 キャリアデザイン学部坂本ゼミ3年
- 協力 報道自由デーフォーラム実行委員会
- ・参加予定大学 法政大学、武蔵大学、同志社大学、新潟大学



資料1 ユネスコによるグローバル MIL ウィーク 2020 の解説

毎年開催されるグローバル MIL ウィークは、関係者が「すべての人のためのメディア情報リテラシー」に向けた進捗状況を確認し、それを祝うための大きな機会です。

ユネスコと GAPMIL（メディア情報リテラシー・グローバル同盟）は、グローバル MIL ウィークを推進するため、世界中のパートナーに呼びかけています。特集イベントはメディア情報リテラシーと異文化対話国際会議とユース・アジェンダ・フォーラムです。グローバル MIL ウィークは、分野や専門を超えた MIL のつながりを促進するため、世界各地でローカル・イベントを呼びかけています。

グローバル MIL ウィーク 2020

今年のテーマ：偽情報のインフォデミックに対抗するためのすべての人のための、すべての人によるメディアと情報リテラシー

COVID-19 のパンデミックが進行中のため、グローバル MIL ウィーク 2020 の特集イベントはすべてオンラインで実施します。

グローバル MIL ウィーク 2020 のテーマは、今日のコミュニケーション、テクノロジー、情報の世界における機会とリスクに対処することも目的に、すべての人の能力を向上させることを共通の関心にします。そして、そのことを認識することによって、いかにして偽情報と格差に対処することができるかに焦点を当てます。

このようにして、メディア情報リテラシーはグローバル・シチズンシップ教育とともに、批判的思考を持つ市民として社会に関わるための知識、スキル、価値観、実践を市民に提供することで、SDGs の達成に向けた前進を支援することができます。これらの能力は、メディア発展への関与、すべての人のための情報と知識へのアクセス、表現の自由のために市民に力を与えることができます。これらはすべて、偽情報とのたたかいをいかにして勝ち取るかということに関わっているのです。

<https://en.unesco.org/commemorations/globalmilweek>

資料2 メディア情報リテラシーと異文化間対話大学ネットワーク声明

COVID-19 に関する批判的かつ建設的な対話のためのメディア情報リテラシー

ソーシャル・ディスタンスや制限された社会相互作用が生じている現代において、批判的な情報の検証やメディアおよびネット環境における批判的な社会的言論の表明、そして目的志向の技術を基盤とした対話と文

化的多様性は、メディア情報リテラシーによって支えられなければなりません。これがユネスコ-国連文明の同盟によるメディア情報リテラシーと異文化間対話(MILID)プログラムの「存在意義」です。この未曾有の時代に、MILID 大学ネットワークは、コロナ危機への対応として、これまでの研究と対話の経験を共有し、メディア情報リテラシーを通じて破壊的な言説から事実に基づく情報を見分けることで、人類の連帯と文化の多様性を促進するという大義のもとに人々を結びつけていきたいと考えています。

若者を含む一般の人々にとってのメディア情報リテラシーの価値と重要性を否定することはできません。メディア情報リテラシーの必要性は、21 世紀に入り、ソーシャル・メディアの台頭によってより顕著なものになりました。

現在の COVID-19 パンデミックとともに、世界はもう一つの危険なパンデミックを目にしています。つまり、偽情報と誤情報のパンデミックです。COVID-19 パンデミックは残念ながらすでに脆弱な世界的連帯感を侵食しており、文化の多様性への進歩を妨げる可能性があります。MILID 大学ネットワークは、市民が研究を行い、建設的な対話と行動に従事する方法を見つけるためのエンパワーメントツールとしてメディア情報リテラシーを強化することを約束します。そして、市民は人間の連帯を促進し、誤報や有害なコンテンツからの自己防衛に貢献することができるのです。

MILID 大学ネットワークは、2011 年にモロッコのフェズでユネスコ、UNAOC (国連文明の同盟)、8 つの創立大学、すなわちオーストラリア、ブラジル、中国、エジプト、ジャマイカ、モロッコ、スペイン、アメリカにある 8 つの大学によって立ち上げられました。その後、MILID ネットワークは世界各地のアソシエイトメンバーを含む 40 の大学に成長しました。このネットワークの主な目的は、異文化間の対話と多様性を育みながら、メディア情報リテラシーを中心とした文化的・科学的な協働のプラットフォームを構築することなのです。

<https://en.unesco.org/themes/media-and-information-literacy/milidnetwork/responsetocovid19>